

平成 28 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	2本のポールを使ったウォーキングによる健康寿命延伸のための地域づくり
事業主体 (連絡先)	鹿教湯温泉を歩こう会 (090-1867-6351)
事業区分	③教育・文化の振興に関する事業 ②保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	467,812 円 (うち支援金 : 350,000 円)

事業内容

① 2本のポールを使ったウォーキング教室
4月～11月の毎週火曜日に、2本のポールを使ったウォーキング教室を定期的に行った。

② ポールステーションの設置・運営
鹿教湯温泉を訪れる湯治客や、鹿教湯温泉を歩く方に対して、教室参加の際にポールの貸し出しを行った。平成28年度は主に、火曜日の教室の際にポールの貸し出しを行った。



【教室の様子】

【目標・ねらい】

- ① 鹿教湯温泉を歩く人の増加
- ② 「健康の里」としてのブランド力向上
- ③ 「健康」を意識する人の増加

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

鹿教湯温泉内をポールを使って歩く方が増えたように感じた。湯治客および地域住民の多くは高齢者が多く、ポールを使って歩くことにより、①安定した姿勢で②歩幅も広く③転倒予防といった効果がみられる。今後も引き続き、鹿教湯温泉を訪れる湯治客および地域住民の方々の健康増進に向けた取り組みを行っていきたいと考えている。

※自己評価【 B 】

【理由】

思ったような集客を行うことができず、来年度も引き続きポールを活用したウォーキング教室を鹿教湯温泉以外でも行っていく必要があるため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

長野県工業技術総合センターと県内ポールメーカー3社(キザキ、シナノ、ナイト工芸)らと連携を図っていく。また信州 ACE プロジェクトとしての A (アクション) に「ポールを使ったウォーキング」が定着するよう、リハビリテーションのメッカ「鹿教湯温泉」が「ポールを使ったウォーキング」のメッカ「鹿教湯温泉」となるよう情報発信も積極的に行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある